

## 令和2年度 第14回兵庫県高校生英語ディベートコンテスト報告

### 第14回兵庫県高校生英語ディベートコンテスト要項（抜粋）

1	主催	兵庫県高等学校教育研究会英語部会 兵庫県高校生英語ディベートコンテスト委員会
2	後援	兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、神戸市外国語大学
3	協賛	GTEC for STUDENTS（株式会社ベネッセコーポレーション） OUP（オックスフォード大学出版局）
4	日時	令和3年2月14日（日）8:30～16:50
5	会場	神戸市外国語大学（神戸市西区学園東町9-1） ※オンライン形式
6	論題	Proposition: That the Japanese Government should ban production and sales of fossil-fueled cars, including hybrid cars, by 2035. 「日本政府は、（ハイブリッド車も含む）化石燃料車の製造と販売を2035年までに禁止すべきである。」

### 1 大会の様子

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてオンライン形式で開催され、交流会として実施された。各校が3試合ずつディベートを行った。

### 2 大会参加校

出場校 神戸市立暮合高等学校、神戸大学附属中等教育学校、県立尼崎小田高等学校、県立宝塚西高等学校、県立宝塚北高等学校、県立国際高等学校、県立芦屋国際中等教育学校、報徳高等学校、県立明石西高等学校、県立加古川東高等学校、県立飾磨高等学校、県立姫路西高等学校、県立姫路飾西高等学校、県立大学附属高等学校、武庫川女子大学付属高等学校（計15校）

### 3 出場生徒感想

- ・ディベートという活動全体を通じて、一つの物事について様々な側面からメリットやデメリットについて考えることができるようになりました。実際の試合において、相手の意見を汲み取りながらも自分達の意見を主張していくのはとても難しく、ましてや英語を使つての会話なので混乱してしまうメンバーもいましたが、しっかりと状況を把握して仲間と情報を共有することで、全員でディベートを進めていくことができ、非常に有意義な活動になったと思います。また、英語運用の能力についても向上することができたと思います。その場にいる全員を納得させられるようなサマリーは構成内容や時間配分の面で自分にとっては挑戦となりましたが、今までの自分の経験やスキルに自身を持つことで、相手やジャッジにはっきりと主張を伝えることができたと思います。今回のディベートで得られた事を次の活動にも活かしていきたいと思います。
- ・10月にディベートを初めてからの約4ヶ月間は正直な気持ちすごくしんどい毎日でした。こんなに毎日のように英語を話す機会が今まではなかったので、英語の難しさを改めて実感しました。ですが、それ以上にこの4ヶ月間を通して少しずつ自分自身の成長も感じる事ができました。初めての2ヶ月間(全国大会予選)は議題に関する情報や英単語の知識不足などで先生やYくん「どこを言えばいいのか」、「英語でどう言ったらいいのか」など頼りっぱなしで、自分の話す英語に自信を持てませんでした。そんな自分が凄くすごく悔しかったですし、逃げ出したくもなりました。全国大会予選が終わりディベートを続けるか続けないかとても迷いました。続ければまたしんどい日々が続くのかとも思いました。それでも挑戦したい自分がいて、ここで逃げ出したくないともう一度参加することに決めました。新しいメンバーになり、また忙しい日々が始まりました。参加する前はしんどい日々だと思っていた毎日が、LL教室に行くのが楽しみと感じる日々も少しずつ増えていきました。新しいメンバーに変わっても最初の方は上手く話せない日々が続きました。そんな自分にまた悩み始めた頃、先生が「言葉を紡ぎながらでいいから頑張って言おう、多少間違っても相手には伝わるから」と言ってくれたことが、自分の中で何かが変わり始めるきっかけでした。そこから少しずつですが自分の意見を言うことが出来るようになりました。「どこを言えばいいのか」という言葉から「私ここを言います」という言葉を言えた時が、自分自身の成長を凄く感じる瞬間でした。オンラインディベートを無事に終えた時は解放感と同時に、ほんの少しだけ名残惜しい気持ちにもなりました。ディベートを通して英語を話す力や聞く力がただでなく他の部分で自分自身の成長をたくさん感じる事ができ、本当にいい経験になりました。放課後遅くまで一緒に残ってくださったり、私たち一人一人の意見をしっかりと聞いてくださったり、データや立論をまとめてくださったり、本当にありがとうございました！先生とあの5人とディベート

出来て本当に楽しかったです！

- ・今回ディベートに参加して、特に今まであまり得意じゃなかった英語で話すことが向上したと思います。今までだと、変な文章なんじゃないかとか思って言うのを口に出すのをやめてしまったりしていたけど、とりあえず拙い文章でも思ったことを口に出してコミュニケーションをとることを意識出来ました。また、立論とか上手く聞き取れないんじゃないかという不安が多くあったけれど、思っていたよりも聞き取れ、議論出来たので嬉しかったし、自分の英語力に多少自信が持てました。今回参加して学ぶことも多くあり、自らを高めることが出来たのでとても良かったと思いました。

#### 【否定側立論】

Thank you, chairperson. We're on the negative side. We have two reasons to support our side.

#### DA1 the damage on automobile industry

##### Present Situation

Auto parts companies in Japan get their profit by selling their products to automakers. If this plan is adopted, the auto parts companies will go bankrupt. According to a report by 富国生命(2013), Quote after banning production of fossil-fueled cars, 70% of auto parts used in fossil-fueled cars will be unnecessary, including engines, transmissions and so on. Unquote Therefore, we can say auto parts companies depend on fossil-fueled cars.

##### Effect

1. If we adopt the plan, this 70% of auto parts used in fossil-fueled cars will not be needed. Companies mainly producing these parts will lose profits drastically. According to the questionnaire conducted by 岡山県産業労働部(2018), Quote in Okayama prefecture, 10% of auto parts companies will be severely damaged. Unquote The word "Severely" means that 60-100% of their profits will be lost.
2. If the plan is adopted, cities, where automaker companies are located, will have a serious damage on their economy. According to a research conducted by 浜松信用金庫(2018), Quote in Hamamatsu city, where Honda, Yamaha, Suzuki were born, after fossil-fueled cars disappear, total production shipment amounts will decrease by 10% (18 billion yen) and about 12, 000 people will lose their jobs. Unquote

##### Importance

Unfortunately, this plan will bring huge negative impacts on the automobile industry. The automobile industry, the main industry in Japan, will definitely be damaged. We have to avoid this serious damage and not ban fossil fuel cars in order to secure the lives of people in Japan.

Let us move on to DA2.

#### DA2: the damage on the environment

##### Present Situation

Japan is largely dependent on fossil fuels to generate electricity in thermal power plants. According to a report of 経済産業省資源エネルギー庁(2018), Quote Japan is largely dependent on fossil fuels imported from overseas. This dependence rose to 87.4% in 2017 because nuclear power plants were shut down after the Great East Japan Earthquake. Unquote Also, in the process of producing EVs, electricity is consumed. Because we rely too much on fossil fuels, it will be difficult to change to a new energy source. Therefore, we still will be unable to reduce CO2 emissions.

##### Effect

In this present situation, the amount of CO2 emissions will increase even if the Japanese government bans the production and sales of fossil-fueled cars. In other words, it will cause more CO2 to be produced. According to simulation research by Dr. Fujimori (Kyoto Univ.) and Dr. Runsen (Hiroshima Univ.) (2000), Quote We still depend on thermal power plants now, so CO2 emissions, including the process of making EVs, making electricity, and running cars, will increase despite the introduction of EVs. Unquote This plan simply cannot lead to the reduction of CO2 emission.

##### Importance

This proposal is supposed to reduce CO2 and protect the environment of our planet, but it will be likely to worsen the situation. That is, the proposal will cause more damage to the environment. We have to avoid more damage at all costs for the next generation.

For these two reasons, we strongly believe this plan will bring significant damage to the automobile industry and the environment. Thank you.